

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公開番号】特開2017-153811(P2017-153811A)

【公開日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-034

【出願番号】特願2016-41285(P2016-41285)

【国際特許分類】

A 6 1 H 23/02 (2006.01)

A 6 1 N 1/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 23/02 3 8 6

A 6 1 N 1/18

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月26日(2018.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体ケース(1)に肌面に美容刺激を付与する肌処理ヘッド(6)が設けてあり、肌処理ヘッド(6)が本体ケース(1)に対して出没自在に設けてあることを特徴とする美容器具。

【請求項 2】

肌処理ヘッド(6)は、収納姿勢と使用姿勢の間で出没できるよう本体ケース(1)で支持されており、

収納姿勢における肌処理ヘッド(6)は、本体ケース(1)の厚み範囲内に收容され、使用姿勢における肌処理ヘッド(6)は、少なくとも肌接触面(44a)が本体ケース(1)の外面から突出している請求項 1 に記載の美容器具。

【請求項 3】

使用姿勢における肌処理ヘッド(6)の背面が、本体ケース(1)の外面から突出している請求項 1、または 2 に記載の美容器具。

【請求項 4】

肌処理ヘッド(6)は、収納姿勢と使用姿勢の間で出没できるよう本体ケース(1)で支持されており、

使用姿勢における肌処理ヘッド(6)のヘッド中心軸線(P1)と本体ケース(1)のケース中心軸線(P)が挟む角度(2)と、収納姿勢における肌処理ヘッド(6)のヘッド中心軸線(P1)と本体ケース(1)のケース中心軸線(P)が挟む角度(1)が異ならせてあり、

前者角度(2)が後者角度(1)に比べて大きく設定してある請求項 1 から 3 のいずれかひとつに記載の美容器具。

【請求項 5】

肌処理ヘッド(6)は、収納姿勢と使用姿勢の間で出没できるよう本体ケース(1)で支持されており、

肌処理ヘッド(6)に装着した支持リンク体(17)の上部が本体ケース(1)に装着されて、肌処理ヘッド(6)が前後傾動可能に支持されており、

使用姿勢における肌処理ヘッド（６）の肌接触面（４４a）が後傾姿勢になるよう支持リンク体（１７）が配置してある請求項１から４のいずれかひとつに記載の美容器具。

【請求項６】

本体ケース（１）と肌処理ヘッド（６）の間に、肌処理ヘッド（６）を出没可能に支持するヘッド支持機構（１６）が設けられており、

ヘッド支持機構（１６）が、本体ケース（１）に連結されて前後傾動する支持リンク体（１７）と、同リンク体（１７）を傾動操作して肌処理ヘッド（６）を収納姿勢と使用姿勢の間で切換える操作機構（１８）を備えている請求項５に記載の美容器具。

【請求項７】

本体ケース（１）の下半側にグリップ部（４）が設けられ、本体ケース（１）の上端とグリップ部（４）の間に肌処理ヘッド（６）が配置されており、

支持リンク体（１７）の上部は本体ケース（１）の上端側に前後傾動可能に連結されており、

支持リンク体（１７）の下部と肌処理ヘッド（６）が相対傾動可能に連結してある請求項６に記載の美容器具。

【請求項８】

操作機構（１８）が、本体ケース（１）に沿って上下スライドする第１操作具（２５）と、第１操作具（２５）のスライド動作を受けて肌処理ヘッド（６）を収納姿勢と使用姿勢の間で前後に傾動操作する第２操作具（２６）を備えている請求項６、または７に記載の美容器具。

【請求項９】

第１操作具（２５）がグリップ部（４）に配置されて、本体ケース（１）に設けたガイド構造（２７）で上下スライド自在に案内支持されており、

ガイド構造（２７）に臨む第１操作具（２５）の外面に、第１操作具（２５）をスライド操作する操作ノブ（２８）が設けてある請求項８に記載の美容器具。

【請求項１０】

支持リンク体（１７）と、第２操作具（２６）のそれぞれが、屈曲変形可能な弾性シート材で形成してある請求項８または９に記載の美容器具。

【請求項１１】

肌処理ヘッド（６）は、収納姿勢と使用姿勢の間で出没できるよう本体ケース（１）で支持されており、

本体ケース（１）の上部に、収納姿勢における肌処理ヘッド（６）を収納するヘッド収容部（５）が設けられており、

肌処理ヘッド（６）をヘッド収容部（５）に収納した状態において、肌処理ヘッド（６）の少なくとも左右周面と下周面がヘッド収容部（５）で覆われている請求項１から１０のいずれかひとつに記載の美容器具。

【請求項１２】

ヘッド収容部（５）が無端環状の凹部、ないし本体ケース（１）を前後に貫通する貫通穴で形成してある請求項１１に記載の美容器具。